国語科学習指導案（本次案）　3学年

単元名『ローマ字』

平成30年9月12日（水）　第4校時
授業会場　3年東組教室
3年東組　男子19名　女子17名　計36名
指導教官
授業者

1　本時の位置（全時間扱い中の第1時）

2　本時の主眼

英語を学びながら自分の名前をサインで書きたいと感じている子どもたちが、ローマ字を読めるようになろうとする場面で、ローマ字の表に着目をして、子音と母音のまとまりを意識することを通して、ローマ字に興味を持ち、進んで読もうとすることができる。

3　指導上の留意点

・導入にてスクリーンを用いて日常でローマ字を使われている場面を示すため、事前にパソコンを準備しておく。
・今日の授業では最初に教科書は使わないのでしまっておくように伝える。
・子どものもっと読みたいに対応できるようにたくさんのローマ字の読みものを用意しておく。

4　本時の展開

段階	学習活動	予想される児童の反応	時間	指導・援助と評価
導入	1 身の周りの環境でローマ字が使われている部分を見てローマ字に出会う。	・伊那だ！ ・これって英語じゃ読めないな…。 ・これってローマ字で読めそう。	8	○子どもが英語だと勘違いしないようにすることや、ローマ字に興味を持つ、注目することができるように、教師は英語とローマ字の両方が使われている場面や、身の回りで子どもがよく見ているものの中からローマ字が使われているものを選び、最初は日本語と共に提示するが最終的にはローマ字だけを提示する。 ○子どもによっては初めてローマ字に出会うこともあるのですこしずつこんな感じで読むのかなと考えられるように、教師は提示するローマ字はaiueoがたくさん使われている場面を最初によく見せるようにし、だんだん子音と母音を合わせた二文字で一つのひらがなを表す物も含めたものを選んで提示するように心がける。 ○子どもが、ローマ字をもっと読みたいと思えるように、教師は子どもの反応からなんで読めてるの？すごいねと褒めるようにする。
展開		**学習問題　ローマ字を読んでみよう**		
	2 ローマ字を読むためにはどのようにすればすればよいのかを考える。	・ローマ字の表を見ればいいよ ・アルファベット表を見ても読めないか。 ・教科書のローマ字の表がのってるよ ・ローマ字の表を見れば簡単だな。 ・ローマ字の表を一つ一つ見ればわかるけどな。毎回探すの大変だな。 ・この表に全部書いてあるな。	7	○子どもがローマ字をもっと読み進めたいと思うように、教師はローマ字の表の切り抜かれたもの（推測でほかの文字も当てはめることのできるもの）を用意してスクリーンの横に提示する。 **「ここは何になりそうか、予想できる？」** ○子どもがもっと読みたいと思うように、切り抜かれたものを用いるが、教師はこのタイミングですべての場所を書き入れないようにして終える。
		学習課題　ローマ字の表を見ればよさそうだ		
末	3 ローマ字を1人で読み進めてみる。	・表を見れば簡単だけど、あいうえおはaiueoだけど、か行はaiueoの前にkを付けたものになっているからそれに注目すれば簡単に探せるな。 ・毎回探すのが大変だけど何か似ている部分が	10	○子どもがこのタイミングで子音と母音のまとまりに気付けるように、教師は最初に提示するものの最後に提示するローマ字は子音と母音でセットにしないと読めない物を選んでおく。

		ないかな？ ・ローマ字はあいうえお以外は大体二文字で一つのひらがなをあらわしているな！		○子どもが進んで読む活動をできるように教師は机間指導の中であまり鉛筆の動いていない子のところに行き、2.3文字を一緒にひらがなに直してやってみる。
	4 子音と母音がまとまりになってローマ字は読むことができることに気付く。	・やっぱり、最初の文字と後の文字を基に表から探すと探しやすいな。 ・やっぱり最初の文字と後の文字にそれぞれ共通点があるんだ。 ・二文字で最初の文字があかさたなの部分を示していて後の文字があいうえおを示しているんだ。	15	**「読んでて気づいたことや困っていることがあったら教えてね。」** ○子どもが悩みを解決できるように教師は机間指導の中で悩んでいる子を探してこのタイミングで当て共有して全体で考えるようにする。 評価：積極的にローマ字を読もうとしている 評価方法：活動の様子、発言、つぶやき
	5 本時の追究を振り返る。	・ローマ字はローマ字の表を見ればわかるけど特に二つの文字のまとまりで、一つのひらがなを示していて、その最初の文字で大体何行を示しているかが分かった。 ・ローマ字はローマ字の表を基本的に見ればわかるということに気付いた。 ・ローマ字はあいうえお以外は二文字で一文字のひらがなを示していることを学んだ。	5	○子どもが次時の活動に活かせるように教師は本時の活動を振り返るようにさせると共に、全体で共有して本時で学んだことの確認をする ・教師は2.3人を当てて、振り返りを全体で共有する。

5 導入における最初の提示するもの

地名（駅名）　　伊那 → 上野 → 岡谷 → 埼玉 → 秋田 → 三重 → 岡山 → 青森

6 板書計画